

2026 年 5 月 20 日

ANEC 事務局

JAEA・幌延深地層研究センター及び
北海道科学技術総合振興センター・幌延地圏環境研究所における実習について

1. 概要

地下施設での調査研究の一端に触れることにより、高レベル放射性廃棄物の地層処分に
関する研究開発への理解を深めることを目的とします。

北海道幌延町にある、日本原子力研究開発機構幌延深地層研究センターにおいては、地下
調査坑道などの施設を見学します。また、同センター職員との意見交換を行います。

同じく幌延町にある、幌延地圏環境研究所においては、同研究所で行われている微生物、
地下水、堆積岩など研究の現状について学びます。(添付 1 参照)

2. 日時

令和 8 年 9 月 13 日（日）12 時 50 分～9 月 16 日（水）12 時

3. 実習場所

・ 9 月 14 日（月）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
幌延深地層研究センター
〒098-3224 北海道天塩郡幌延町字北進 432 番地 2
<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/>

・ 9 月 15 日（火）

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター
幌延地圏環境研究所
〒098-3221 北海道天塩郡幌延町栄町 5 番地 3
<http://www.h-rise.jp/>

・ 9 月 16 日（水）

北海道大学工学部/工学研究院 **A3-71 会議室**
〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目
<https://www.hokudai.ac.jp/>
(9 月 13 日の集合場所のある建物の 3 階北側です。)

実習詳細日程及び班割は添付 2 及び 3（後日配布予定）を参照のこと。

4. 旅程

旅程詳細は添付 4（予定）を参照のこと。

集合日時：9 月 13 日（月）12 時 50 分

集合場所：北海道大学工学部正面玄関前（添付 5：キャンパスマップ参照）

北海道大学工学部/工学研究院

〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目

<https://www.hokudai.ac.jp/>

最寄りの地下鉄の駅（北 1 2 条駅）から 10 分くらいかかりますので、十分気を付けてください。

5. 宿泊

・**遠方より来る方**は、9 月 12 日に札幌市内に宿泊してください。宿泊費 12,000 円を支給します。各自で手配し、宿泊先のホテル名を 8 月 24 日（月）までに、事務局に連絡してください。連絡がない場合、旅費を支給できません。

・**9 月 13, 14 日における宿は以下に予定しています（事務局にて全員分を予約済）。**

ホテル 豊富

北海道天塩郡豊富町字温泉

(北海道天塩郡豊富町字上サロベツ 1510-2)

TEL: 0162-82-1055

<http://www.hotel-toyotomi.co.jp/kannai.htm>

・ホテル豊富の宿泊費 9,800 円については、各自で支払ってください。
・2, 3 人の相部屋です。個室を希望する場合は、支給する宿泊費に上乗せして、個人負担することになります。その旨、事前に、申し出てください。

・**遠方より来る方**は、9 月 15 日も同様に札幌市内にホテルを各自予約してください。同様に、宿泊先のホテル名を 8 月 10 日（月）までに、事務局に連絡してください。連絡がない場合、旅費を支給できません。

6. 旅費

・ 所定の交通費、宿泊費及び日当を、後日、指定の口座に振り込みます。指定口座をご連絡ください。

・ 北海道に来る際には、必ず航空機で来てください。電車、フェリーの利用はしないでください。

・ 7 月 31 日（金）までに、旅行行程表及び航空機領収書を ANEC 事務局に提出し、実習終了後に、搭乗証明書 PDF を ANEC 事務局にメールするか搭乗半券を郵送してください。

・ 旅費は、大学所在地と北海道大学間で支給されます。その行き返りにおいて、他の所要で経路を外れることは、原則として、認められません。

・ 旅費支給には、債主登録が必要です。下記 URL よりご自身で登録していただくようお願いいたします。

<https://saisyusystem.finance.hokudai.ac.jp/>

なお、既に行っている方、行っているか分からない方は、ANEC 事務局にメール（メールアドレス：anecoffice@eng.hokudai.ac.jp）で問い合わせしてください。

・ 参加の方全員、昼食代(3000 円、9 月 14, 15 日分)を集めますので、現金を用意してください。飲み物につきましては、各自用意してください。

・ これらが守られない場合は、旅費が支給できません。

7. 事前学習

実習に参加する前に、下記の学習資料により事前学習をしてください。その際、興味のある点、質問事項を最低 2 ～ 3 点あげて、必ず ANEC 事務局に回答してください。締め切りを 8 月 31 日（月）とします。提出しない場合は、旅費を支給できません。

7.1 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 幌延地圏環境研究所

・ 幌延地圏環境研究所の研究概要

▶ [幌延地圏環境研究所の研究概要（上野晃生）](#)

7.2 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター

・ 坑道掘削の動画のリンク

幌延深地層研究センター 地下坑道掘削の紹介（2012 年 12 月作成） - YouTube

https://www.youtube.com/watch?v=cS8C_UMaXMY

・ 原子力人材育成事業（*） #03「放射性廃棄物処分工学」

講義 7：深地層研究施設での研究開発

(藤田 朝雄先生・経済産業省 資源エネルギー庁 ※旧所属 日本原子力研究開発機構)

<https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/backend-radioactive-waste-disposal-engineering>

<その他、参考となる教材>

- ・原子力人材育成事業 (*) #03「放射性廃棄物処分工学」

講義 1、2：(大江 俊昭先生 ※旧所属 東海大学工学部原子力工学科)

<https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/backend-radioactive-waste-disposal-engineering>

- ・原子力人材育成事業 (*) #03「放射性廃棄物処分工学」

講義 4：放射性廃棄物処分工学 3 (鈴木 寛先生・原子力発電環境整備機構)

<https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/backend-radioactive-waste-disposal-engineering>

・原子力人材育成事業 (*) オープン教材の活用による原子力教育の受講機会拡大と質的向上

講義 1：高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する科学的特性マップについて

(兵藤 英明先生・原子力発電環境整備機構)

<https://ocw.hokudai.ac.jp/lecture/nucl-eng-open-ed>

8. 実習修了証及びオープンバッジについて

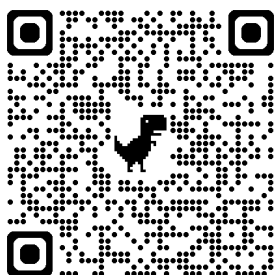
- ・実習終了後、実習修了証を全員に発行します。
また、修了証のオープンバッジを発行します。
- ・実習終了後、課題にかかるレポートを提出し、合格した方について、合格証のオープンバッジを発行します。

オープンバッジは、本実習の修了・合格を証明し、その品質を保証するものです。就職の際にエントリーシートに記載することも可能で、国際的に通用します。オープンバッジの詳細については、下記を参照してください。

<https://www.openbadge.or.jp/about-ob/>

9. 事前アンケート

事前アンケートに協力をお願いします。下記 QR コードをスマホで読み取って、9 月 7 日 (月) までに回答してください。



なお、見学会終了後にも、本見学会の効果を見るために、事後アンケートを行いますので、併せて協力をお願いします。

10. 注意事項

- ・ 身分証明書コピーの提出が必要です。個人情報、この実習に関係する施設に提出する以外は使用しません。
- ・ 体温が 37.5 度以上ある、味覚を失った等、体調不良の場合は、直ちに連絡してください。交通機関、宿など予約をしている場合は、キャンセルしてください。キャンセル料が発生する場合は、後日、領収書とともに、事務局に請求してください。
- ・ 感染対策のための除菌等はこまめに行ってください。
- ・ 幌延深地層研究センター実習にあたっての諸注意事項を遵守してください。
- ・ 幌延は、夏でも比較的寒冷です。事前に気象状況を確認し、服装には十分気を付けてください。

以上

幌延地圏環境研究所の見学

1. 目的

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター・幌延地圏環境研究所(幌延ライズ(H-RISE) : Horonobe Research Institute for the Subsurface Environment) は、JAEA 幌延深地層研究センターの深地層研究施設を活用し、地圏の場と性質を利用した地球環境の改善に関する諸研究を展開するために 2003(H15)年 6 月に設立されました。地下微生物環境、地下水環境、堆積岩特性の 3 つの視点から、幌延ならびに天北地域の地圏環境とその工学的応用に関する基礎研究を実施しています。

本研究所では、長期的な視点で科学的成果を得ることを目的とした基盤研究と、基盤研究を応用して地域産業や生活環境の向上など地域経済の活性化に繋げるためのプロジェクト研究を行ってきました。

そこで、本研究所では、これらの研究成果と今後の展望について学びます。

2. 内容

① 全体説明

JAEA 幌延深地層研究センター国際交流施設において、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター・幌延地圏環境研究所の全体の説明を受けます。

② 幌延地圏環境研究所実験室見学

本研究所では、地下微生物環境研究グループ、地下水環境研究グループ、堆積岩特性研究グループの 3 つ研究グループが、堆積岩層に建設中の幌延深地層研究施設や北海道北部に分布する天北炭田等を活用して、珪藻質岩層や石炭層の地下環境を理解するためのフィールド科学に関する研究と、その地下環境を活用したメタンガス鉱床開発や二酸化炭素貯留を実現するための要素技術開発に関する研究を行っています。

これらに係る実験室を見学します。

③ 質疑

本研究所で行っている地下微生物環境研究、地下水環境研究及び堆積岩特性研究について、見学の感想、疑問点などについて質問などをしてください。

また、地域との連携などに関する観点からでも結構です。

JAEA・幌延深地層研究センターにおける実習日程（昨年の例）

	会場：ゆめ地創館多目的室	
	日程：2025/9/16	
	A班	B班
9:00	冒頭挨拶・カリキュラムの説明・入坑の諸注意・写真撮影 9:10～9:40 [30]	
	実習前講義（地下水） 9:40～10:10 [30]	
10:00	概況説明 10:10～10:40 [30]	着替え 10:10～10:20 [10]
	ゆめ地創館見学・地層処分実規模試験施設見学 10:40～11:40 [60]	地下水実習 10:20～11:30 [70]
11:00		着替え 11:30～11:40 [10]
	昼食 11:40～13:00 [80]	
12:00		
13:00	着替え 13:00～13:10 [10]	概況説明 13:00～13:30 [30]
	地下水実習 13:10～14:20 [70]	ゆめ地創館見学・地層処分実規模試験施設見学 13:30～14:30 [60]
14:00	着替え 14:20～14:30 [10]	
	休憩 14:30～14:50 [20]	
	実習後講義（地下水） 14:50～15:20 [30]	
15:00	まとめ 15:20～15:50 [30]	
	事務連絡	
16:00		

2026 年 5 月 20 日

ANEC 事務局

添付 3

幌延地圏環境研究所及び JAEA・幌延深地層研究センターにおける見学班分け（未定）

2026 年 5 月 20 日

ANEC 事務局

添付 4

旅程（予定：変更の可能性あり）

9 月 13 日（日）

12:50	北大工学部	正面玄関	集合
13:00	北大工学部	正面玄関	発（貸切バス）
18:00	ホテル豊富		着

9 月 14 日（月）

7:30	朝食		
8:30	ホテル豊富		発
8:50	幌延深地層研究センター		着
9:00	見学・実習		
12:00	昼食		
13:00	見学・実習		
17:00	幌延深地層研究センター		発
17:20	ホテル豊富		着

9 月 15 日（火）

7:30	朝食		
8:30	ホテル豊富		発
	豊富町大規模草地牧場経由		
9:30	幌延深地層研究センター		着
12:00	昼食		
12:50	幌延深地層研究センター		発
13:00	幌延地圏環境研究所		着
14:00	幌延地圏環境研究所		発
19:00	北大工学部		着

9 月 16 日（水）

10:00	北海道大学工学部において、グループディスカッション
12:00	解散

添付 5

